



東台福浦小学校

「地域ふれあい活動」～これまでの学習を生かして～

本校では児童から希望を聞き、地域の方々をお招きして毎年「地域ふれあい活動」を行っています。

今年度は、学年ごとに活動内容を考えて取り組みました。今回は5年生と6年生の「地域ふれあい活動」の様子を紹介します。

5年生は、家庭科の学習が始まったため、並縫いをもとに「刺し子のランチマット」作りに取り組みました。

講師は、「川堀学びの会」の方々



で、中には本校の保護者の方もいらっしゃいました。難しいところやわからないところを教えていただき、最後まで優しく励ましてくださいました。こうして一針一針、心をこめた作品が完成しました。

6年生は、社会科で歴史を学習しています。教科書では日本全体にかかわる事柄や人物の学習をします。そこで、「郷土の歴史について、総合的な学習の時間を生かして、調べていこう。」とい



うことにしました。地域ふれあい活動では、子之神社・小道地蔵・吉浜古道・熊野神社・山の神の社をたどっていく計画を立てました。

当日、子之神社では、宮司さんに、神社の由来、福浦の歴史や伝説について詳しくお話を聞かせていただきました。

その後、雨が強くなってきたので、小道地蔵と吉浜古道の石碑までの見学となりましたが、郷土の歴史に触れ、充実した時間を過ごすことができました。



湯河原中学校

支援と「絆」

校地内の木々も1枚1枚枯れ落ちていき、吹く風も身にしみる今日この頃です。花の少ない季節になりましたが、11月に学校支援ボランティアの方々に学校の環境整備支援として、パンジーの苗をプランターに植えていただきました。



パンジーの花言葉の一つに「心の平和」がありますが、校門から体育館前にかけて、来るべき春を待ちながらも毎日、生徒の登下校を見守っています。

また、学校支援ボランティアの方々による2年生の「総合的な学習の時間」の調べ学習の補助や書架の整理など、学校をサポートする活動が根付きつつあります。さらに、1年生の職場見学(11月12日(木)実施)や2年生の職場体験学習(2月3日(水)実施予定)についても、地元の事業所から多数の機会を提供していただいています。

改めて学校が地域から信頼され、「絆」で結ばれていかなければならないと実感するところです。

校内でも整備委員会が生徒たちにボランティアを呼びかけ、12月10日(木)に校地内と学校周辺の落ち葉拾いやコンクリート壁の落書き消しを実施しました。新生湯河原中学校として、目指す学校像の一つである「きれいな学校」に一步でも近づけるように、地域との「絆」を深めながら地道なかかわりを結び続けたいと思います。支援と「絆」の可能性は未知数です。今後とも地域の皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。